

平成31年度 いわみ西保育所拠点事業報告

《いわみ西保育所事業報告》

1. 事業総括

サービス事業及び人財育成事業については、3保育所拠点（いわみ西保育所、東保育所、日貫保育所）が同一の事業を実施しているため、いわみ西保育所拠点で総括して報告致します。

(1) サービス事業

石見さくら会3保育所では、共通の保育理念、保育方針、保育目標に基づき『豊かな心と健康な体を作ろう』というテーマをもとに、一人ひとりを大切に考え、個別支援なども行いながら、子どもたちがのびのびと心安らかに保育所生活を送れるよう保育を行ってきました。職員は研修などで学んだ知識や技術を生かしながら、子どもたちにとってより良い保育、保護者にとってより安心できる環境を提供するように努めてまいりました。

(2) 人財育成事業

一人ひとりの職員の資質の向上と職員全体の専門性を高める為、なるべく多くの研修を受けてもらおうと積極的に研修会に参加するよう努めてまいりました。

職員自身も興味ある研修、自分の成長に必要である研修などを積極的に受けようとする姿があり、意欲的に参加し、学んでいました。また事業所内での園内研修では、研修計画を立てるところから取り組んだことで、一人ひとりの意識がより高まりました。

より良い人材を育成し、より良い保育へとつながるように取り組みました。

(3) 施設整備事業

子どもたちの発達や成長に必要な運動遊具・用具・絵本などを購入しました。また老朽化したものを整理し、新しいものも購入させていただきました。

保育を衛生的に行うために、紙おむつの処理を業者に委託し、清潔により安心して過ごせる環境を整えました。

パソコンのネットワーク化では、職員の業務の効率をあげ、情報の保護にも役立てました。

防犯システム・防犯カメラの設置に伴い、防犯訓練も行い、非常時の対応についても、職員間で話し合いを深めながら、緊急時に備えました。

平成31年度に実施した個別の事業の詳細及び成果等は以下の通りです。

【サービス事業】

計画上の事業	実施した内容・成果等
豊かな心を育てる	<p>【絵本に親しむ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの年齢や興味を考えながら、絵本を積極的に保育の中にとり入れました。また子どもたちも喜んで絵本に親しめるよう、絵本を見る環境の整備にも努めました。 ・年長、年中組は月に1回、ボランティアの方によるお話し会の時間を持ちました。 ・親子で絵本を楽しめる空間を作り活用しています。親子のふれあいの良い時間となっておりますが、夕方利用の場合、なかなか帰ることができないという問題もあり、季節や利用時間についての検討が必要です。 <p>【地域交流をする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の小・中・高校生との交流・・・小学校は年3回、中学校は年3回、高校は年4回、石見養護学校は年2回交流を行いました。 ・施設との交流・・・緑風園～芋ほり交流、桃源の家～レクレーション交流、香梅苑～運動会、希望の郷～クリスマス会などを行いました。 ・地域や地域の高齢者の方との交流・・・野菜の苗植え、野草茶作り、まき餅作り、餅つき会、うどん作り、干し柿作り、芋ほり交流、運動会、ジャンボ巻き寿司、角寿司作りなどを行いました。 <p>その他、毎月のお茶会、1、2月に神楽交流などを行いました。</p> <p>【異年齢児交流を大切にする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児とのふれ合いの中で見られる優しい姿や、思いやりある行動に異年齢児交流の大切さを実感しています。ただ人数の多い保育所では、意識的に関わりを持たないと交流せずに過ごしてしまうこともあるので、計画的に行うように努めました。 <p>【わらべうたに親しむ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に数回、ボランティアの方によるわらべうたあそびを楽しみ、毎日の保育や行事の中で生かしています。ゆっくりとした言葉のやりとりや歌に子どもたちの気持ちも安らぐことが

	<p>できています。</p> <p>【アートデーを行う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を立てて、専門の講師によるアートデーを行い、各クラスの年齢に合った活動が経験できるようにしました。 ・行事等で発表する機会をつくり、保護者にも活動状況を伝えることができました。 <p>【外国の文化に触れる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4, 5歳児が外国人講師の元で、遊びを通して英語にふれ合ってきました。子どもたちは興味を持って活動を楽しんでいました。今年度は、3園合同で一緒に交流しましたが、人数が多くなりすぎるので、来年度は保育所別に行った方が良いと思います。 <p>《成果》</p> <p>核家族化や少子化で、家庭だけでは経験できない人との触れ合いができることで、子どもたちの視野も広がり、いろいろな人との触れ合いの中から学ぶことも多くあり、その中で心も豊かに育ってくれていると思います。また外部講師との関わりは、子どもたちだけでなく職員も刺激を受け、共に成長できる場でもありました。</p>
<p>健康な体を作る</p>	<p>【年齢や発達に応じた運動あそびを行う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの年齢にあった活動や発達を考慮した運動あそびや体力作りを取り入れるようにしました。 ・2歳児以上で体ほぐし体操を取り入れ、体幹づくりに向けての取り組みを行ってきました。 ・幼児クラスでは、新たに「しゃきつと座ろう体操」を取り入れ、体幹づくりへの取り組みをステップアップしました。 ・5歳児は、二か月ごとに専門の講師による運動教室が行われ、基礎的な動きを学びました。また保護者の方にも見学に来てもらい、様子を見てもらったりしました。 <p>【自然の中での遊びを経験する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵まれた地域の自然を生かし、積極的に戸外に出て自然の中でのあそびを体験しました。今年度は日貫の金比羅山への山登り体験を取り入れました。山道を歩いたことがない子どもも多く、良い経験となりました。 ・川遊びは、深篠川と日貫川へ行きました。川の形状が違うので、それぞれちがった川遊びを体験することができました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が声をかけて下さり、ハーブ米の田んぼでたくさんの花摘みを経験させてもらいました。 <p>《成果》</p> <p>それぞれの年齢ごとの活動を大切にし、子どもたちの成長・発達に必要なことを取り入れて過ごしました。また、体を動かすことの基本として、歩くことを大切にし、気候の良い時には散歩に出かける機会を多く持ちました。通園が保護者による車での送迎になっていることもあり、保育所での歩く経験や身体を動かすことが大切だと感じています。自然豊かなこの土地で経験できることを活かし、故郷での体験と共に育ってほしいと願っております。</p> <p>また、運動教室の外部講師の先生にアドバイスを頂きながら体幹づくりの取り組みを、より充実したものになるようにしました。</p>
<p>食育に取り組む</p>	<p>【毎日の給食を楽しむ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく食事ができるように、雰囲気づくりを大切にし、乳児クラスでは言葉かけなども大切にしていました。 ・幼児クラスでは、食事の前に食材の話や作り方の話を聞き、これから食べる食事に興味関心を持たせるようにしました。 ・季節を感じられるような給食の提供に努めました。 <p>【野菜作りや年齢に応じたクッキング経験をする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士・調理師・保育士が協力し合い、それぞれの年齢にあったクッキングを行いました。食材について学んだり、料理することを楽しんだり、食べる楽しさを感じ、家庭ではできない経験をたくさん積みました。 ・地域でいただいた野菜の苗を育てることで、収穫の喜びを感じ、また自分で育てた野菜を食べる喜びも感じました。 ・食に関する掲示物を作って掲示したり、箸の使い方やマナーなど紙芝居やクイズなどで子どもたちにわかりやすく知らせました。 <p>【地域の郷土、伝統料理にふれる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や地域の高齢者の方と交流しながら、まき餅、野草茶、餅つき、角巻き寿司作りなどを行い、郷土料理、伝統料理に触れることができました。 <p>【保護者への食の関心を深める】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方には月に1回、栄養士による「食育便り」を配布

	<p>しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯の健康教室や、親子クッキングの場で座談会を行い、食事についての悩みを話し合ったり、保育所での様子を知らせたりしました。 <p>《成果》</p> <p>年間食育計画の見直しをしながら食育を進めてまいりました。保育士・栄養士・調理員が協力し合い、子どもたちにとって大切なこと、伝えていかなければならないことを話し合いの中で確認し、活動に取り入れました。</p> <p>マナーや箸の使い方で気になるところは、個別に指導したり、ゲームや遊びの中で練習を取り入れたりしながら進めてきましたが、定着にはかなりの時間が必要でした。</p>
<p>保護者の子育てを支援する(いわみ西)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり保育事業・・・平成31年度は延べ43人の利用がありました。平成30年度より利用数がかなり減りました。原因としては、在宅の子どもが減り、ほとんどの子が保育所に入所していることが考えられます。 ・体調不良児保育・・・今年度は延べ26人の利用がありました。クラスでの手洗いうがいの徹底やソリューションウォーターの使用で今年度も感染の拡大を防ぎ、発生件数が少数にとどまっていました。またコロナウイルスの影響で、保護者も感染症に敏感で、早めの受診がみられました。 ・障がい児保育・・・年長児に支援を必要とする子が5名、年中児に2名おりました。就学に向けての支援は、保健課、教育委員会と連携をとりながら、慎重にすすめてまいりました。また、保護の気持ちに寄り添い、支えることも大切にしました。 <p>《成果》</p> <p>支援体制をとるために、職員加配をつけたり、関係機関との連携を密に取り合ってきました。子どもたちが自己肯定感を失うことなく、自分らしく過ごせるように支援してきました。また、保護者の不安な気持ちに寄り添い、子どもたちにとって最善の方法は何か、ということと共に考えるようにしました。</p>
<p>災害時に備えての安全対策を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月一回、避難訓練を行いました。その時に、問題点や改善点を話し合い、どのような場合においても対処できるように取り組んできました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・避難時の防災頭巾の着用や職員のヘルメット着用の練習も行いました。 ・常備食、飲料水は誰もがわかる場所に保管し、賞味期限の確認を行っています。
--	--

【人財育成事業】

① 研修

《事業所内研修》

計画上の研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
石見さくら会保育研究会 体幹研修	保育士	39名	乳幼児の体幹の重要性と保育や生活に必要なことを学び、食育プロジェクトや保育に取り入れました。
石見さくら会保育研究会 調理担当者研修	調理師 栄養士	5名	栄養士と調理士が共に調理実習をすることで、知識と技術の向上を図ることができました。
石見さくら会保育研究会 救急法研修	全会員	37名	グループごとに与えられた事例に対する行動を発表、検討し合い、保育の現実に即した、実のある研修になりました。
石見さくら会保育研究会 防犯教室	全会員	37名	不審者侵入時の保育士の対応・連絡・子どもの誘導の仕方について指導を受け、職員同士で確認・認識し合い、簡単な護身術も学びました。
石見さくら会保育研究会 県立図書館絵本の話	全会員	30名	読み聞かせ等の年齢にあった絵本の選び方、読み方を学び、実践に結び付けました。

《事業所外研修 専門研修》

計画上の研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
郡保育研究会総会	保育士 栄養士 調理師 看護師	29名	白梅学園短期大学保育科・教授 中山正雄氏から「保育の自由と保育者の主体性」についての講演を聴き保育者としてのあり方を学びました。
郡所長研修	所長	3名	「アンガーマネジメントと職員のメンタルヘルス」について学び、県健康福祉部子ども子育て支援課の方と

			情報交換することができました。
郡主任研修	主任	2名	「アンガーマネジメント」について学び、主任として子どもや保護者、職員との対応方法を学びました。
郡調理担当者研修会	栄養士 調理士	2名	県央保健所・松田友美氏に学び調理実習等を行い給食に役立てました。
県栄養士会総会並びに研修会	管理栄養士	1名	食物アレルギーガイドラインの変更ポイント等確認ができ、これからの対応に生かすことができました。
新任職員研修会	保育士	2名	「あなたが大切」という思いをもって、子どもや保護者と接し、信頼関係を築き、子どもの心に寄り添った保育をするよう努めました。
県食育推進研修会	栄養士 保育士	4名	新保育指針を基にわかりやすく食育のねらいを学び、食育年間計画表作成にあたり、大変参考になりました。
保育士等キャリアアップ研修「保健衛生・安全対策」	保育士	2名	保健計画・事故防止・健康安全管理・感染症対策・応急処置等について学び、保育に生かすことができました。
保育の職場のエルダー制度導入支援事業	保育士	2名	エルダーとなる為の注意事項や心構えについて学びました。自分の経験や反省も振り返り、取り組みました。
中堅職員スキルアップ研修Ⅰ	保育士	1名	組織の中の中堅としての役割を学びモチベーションを高めることができました。職場全体を見る余裕を持つよう努めました。
島根県保育協議会総会	所長	3名	特定社会保険労務士・松村氏より労務管理等について学びました。
中堅職員スキルアップ研修Ⅱ	保育士	1名	中堅職員として、どのような力を身に着ける必要があるかを考え、組織にとって必要な人材となることを学びました。
郡実技研修	保育士	19名	県立図書館司書・遠藤由紀氏に、年齢に合わせた絵本の選び方や読み方の指導をして頂き、日々の保育に実践しています。

県施設長研修会	所長	3名	施設長の責務や、カリキュラムマネジメントについて学びました。また、乳幼児期に大切なメディアによる脳障害についてのお話も聞くことができました。
保育士キャリアアップ研修 【幼児教育】	保育士	4名	子どもがしっかり遊びこむことのできる環境づくり、10の姿と小学校への接続について学んだことを生かし援助していきました。
保育士キャリアアップ研修（障がい児保育）	保育士	1名	子どもの気持ちを理解した養護的言葉かけの必要性、障がい児保育の指導計画の立て方を学び実践していきました。
保育士等キャリアアップ研修（乳児保育）	保育士	2名	子どもを見る目を共有する為の演習の進め方等を学び、子どもの心に寄り添う保育をするよう努めました。
郡保育研究大会	保育士 栄養士 調理士 看護師	27名	鈴木翼氏を講師に、保育の実践に役立つ遊びやパネルシアターなどを学び、其々の保育所に持ち帰り実践することができました。
指導的職員研修Ⅰ	保育士	1名	職場での問題解決の方法や指導的立場にある者の対応や技術を学び、日々の業務に生かしていくようにしました。
邑智地区栄養士会研修並びに栄養士の集い	管理栄養士	1名	アレルギー総合ガイドラインの改定の周知と保護者の不安への理解と支援について確認しました。
メンタルヘルス研修Ⅱ 管理監督職コース	主任	1名	部下や同僚、また自分自身のメンタルの不調に気づくポイントを学びました。
メンタルヘルス研修Ⅰ	保育士	1名	ストレスはマイナスのものばかりではないと知り、自分やお互いを認め合うことができるような働きかけをしていきました。

全国保育士会研究大会	保育士 栄養士	6名	松江市で開催された全国大会に参加し、其々が学びたい分科会で実りある学びを得ました。令和5年度の研究発表を控え、そのノウハウを生かしたいと思います。
保育士キャリアアップ研修 【食育・アレルギー対応】	調理師 栄養士	2名	食育の重要性和保育所に求められている役割を学びました。アレルギーに対しても職員間の情報共有を密にしていきました。
保育士等キャリアアップ研修 【保護者支援・子育て支援】	保育士	2名	保護者に合わせた対応の仕方や話し方を学びました。信頼関係を築いていくうえで役立ちました。
全国社会福祉法人経営者協議会 初級リスクマネージャー養成講座	所長	1名	日々の保育、入所時の確認、職員の連携、情報の共有の重要性を強く感じました。また業務の標準化を目指していきたいと思います。
保育士・保育教諭スキルアップ研修	保育士	5名	子ども達の行動や言葉をしっかり観る事の大切さと「育ててほしい10の姿」を具体的に読み解き学びました。
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース	保育士	3名	チームリーダーとして職員の指導・育成の大切さや、その方法を学び、職員会議などに活用しています。
保育士キャリアアップ研修会 【マネジメント】	保育士	3名	目的意識を持ち、学びを保育に持ち帰り、職員が皆で同じ方向を向き仕事ができるよう、働きやすい職場作りに努めたいと思いました。

【施設整備事業】

計画上の施設整備等	実施した内容等
絵本や絵本コーナーの充実	<ul style="list-style-type: none">・各クラスに必要な絵本を準備することができました。・破損のひどいものは処分させていただき、新しい本を購入させていただきました。
運動遊具・用具の購入	<ul style="list-style-type: none">・子どもたちの発達に必要な運動遊具や用具を購入させていただきました。年齢によって活動内容も違うので、それぞれに合ったものを購入しました。
防犯システム・防災用品の充実	<ul style="list-style-type: none">・昨年、補助金の関係で導入できなかった防犯システム・防犯カメラが設置されました。8月末より活用しています。
外廊下照明増設	<ul style="list-style-type: none">・冬時間になると暗くて外廊下にあるものが見えませんでした。照明をつけたことで足元も明るく、安全になりました。
保育所内でのパソコンのネットワーク化	<ul style="list-style-type: none">・これまで印刷をするときには、データーをもって移動し、事務所のパソコンから印刷などをしていましたが、ネットワーク化したことで、USBの使用もなくなり、情報の安全性が高まるとともに、業務の効率も上がりました。
紙おむつの処理	<ul style="list-style-type: none">・使用済み紙おむつをカバンに入れて持って帰ることで、不衛生ではないかと保護者からの指摘もあり、業者に引き取り処分してもらうことにしました。職員の業務負担も減り、衛生面も改善されました。
砂場のカバーの購入	<ul style="list-style-type: none">・老朽化で穴が開いていた為、動物の糞防止になっていませんでした。新しくしたことで安心して砂場で遊ぶことができるようになりました。
パンフレット作成	<ul style="list-style-type: none">・保育所独自のパンフレットがなかったため、今回3園合同でパンフレットを作りました。

2. 利用者状況の総括

今年度は、保育士の配置人数が確実な範囲の中で入所児童数を受け入れたので、人員不足の心配なく保育が行えました。予定より増えている人数は、保護者の勤務異動などで入所した子どもたちです。幼児クラスの子どもだったため、職員の配置には影響なく受け入れることができました。

【利用率（入所率）の状況表】

(単位:人、%)

定員	計画人数	計画利用率	実績人数	実績利用率	備考
120	115	95.8	118	98.3	4月スタート時106名

【利用者（入所者）構成の状況表】

(単位:人、%)

構成 (クラス別)	計画		実績		備考
	人数	構成割合	人数	構成割合	
0歳児	12	10.4	13	11.0	4月スタート時 3名
1歳児	24	20.9	24	20.3	4月スタート時 24名
2歳児	8	6.9	8	6.8	4月スタート時 8名
3歳児	26	22.6	26	22.0	4月スタート時 26名
4歳児	21	18.3	22	18.7	4月スタート時 21名
5歳児	24	20.9	25	21.2	4月スタート時 24名
計	115	100.0	118	100.0	4月スタート時106名

3. 要員（人員）体制の総括

平成31年度スタート時は、0歳児が3名しかおりませんでしたが、途中入所が決まっており（最終的に0歳児13名）、人数が増えてくると保育士の数が不足し、職員の休みも確保できなくなるため、9月より保育補助を増やすことにしていました。そのため、今年度は人員不足を心配することはありませんでした。調理員が12月より産休に入りましたが、代替えの調理員が見つかった為、業務に支障はありませんでした。

【要員状況表】

（単位：人、％）

職 種	計 画		実 績		
	人 数	常勤換算数	人 数	常勤換算数	計画に対する 充足率
所長	1	1.0	1	1.0	100.0
主任保育士	1	1.0	1	1.0	100.0
保育士	17	17.0	17	17.0	100.0
栄養士	1	1.0	1	1.0	100.0
調理員	3	1.8	5	1.6	88.9
看護師	3	1.2	3	1.4	116.7
保育補助	2	2.0	3	3.0	150.0
環境整備	2	1.0	2	1.0	100.0
計	30	26.0	33	27.0	103.8

4. 苦情解決（要望含む）について

平成31年度において、以下の苦情が寄せられ、解決を図りました。

【苦情事例1】

- ・発生日：令和元年8月8日
- ・申立者：保護者の方
- ・苦情内容：“4歳児が水着を着ずにプールに入った” ことについて
忙しくて時間がなくても、水着を着ずにプールに入ったことは、子どもを物のよ
うに扱われているような気がして許せない。
- ・処理結果：
普段は水着を着てプールに入っているが、この日は巡回相談が長引き、プールに
入る時間が無くなったので、入ることを止めようと思ったが、プールに水は溜まっ
ており、子どもたちは朝からプールに入ることを楽しみにしていたので、シャワー
の代わりに汗を流すつもりで、裸のままプールに入ってしまった。今後は、時間が
なければ、シャワーのみで汗を流すようにし、入る時には、必ず水着を着用するこ
とを職員に周知し、徹底することにする。そのことを保護者にも伝え納得してもら
う。
- ・第三者委員の関与：解決結果を報告済み

【苦情事例2】

- ・発生日：令和元年12月4日
- ・申立者：保護者の方
- ・苦情内容：“お楽しみ会の会場の換気” について
昨年のこの会において参観をしていた祖父母が、家に帰ってからインフルエンザ
を発症した。大勢の人の中で観覧していたことで、感染したのではないかと思うの
で、今年は会場の換気を何回か行ってほしい。
- ・処理結果：
過去のお楽しみ会において、換気を行ったところ、小さい子ども連れの保護者や
高齢者の方から、「寒い」「客の年齢層を考えてくれ」との苦情があり、換気を行う
ことは難しいと伝え、マスクの着用など感染防止対策をとってもらうことで納得し
てもらった。また、当日は入口のところに消毒液も準備する。
- ・第三者委員の関与：解決結果を報告済み

以上